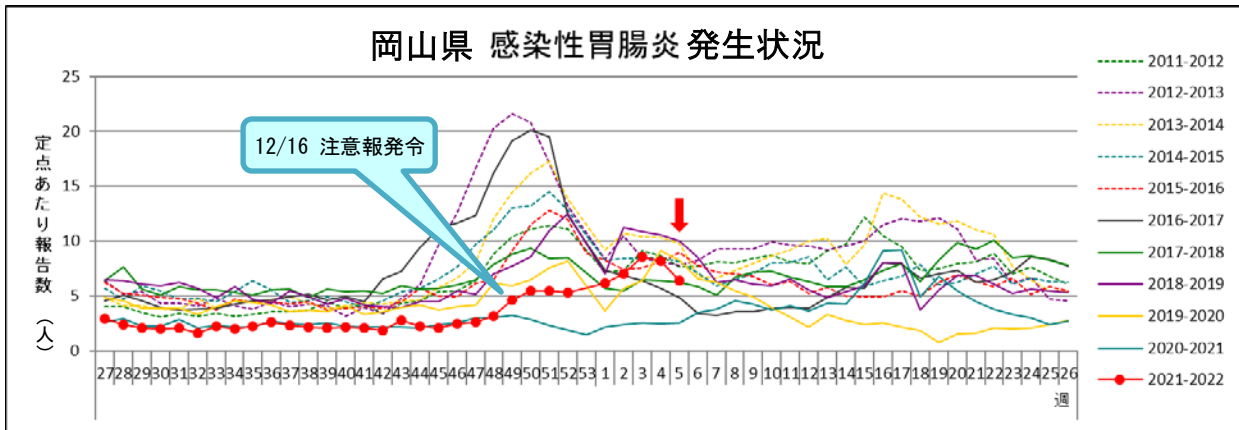


感染性胃腸炎週報 2022年 第5週 (1月31日～2月6日)

岡山県は『食中毒（ノロウイルス）注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

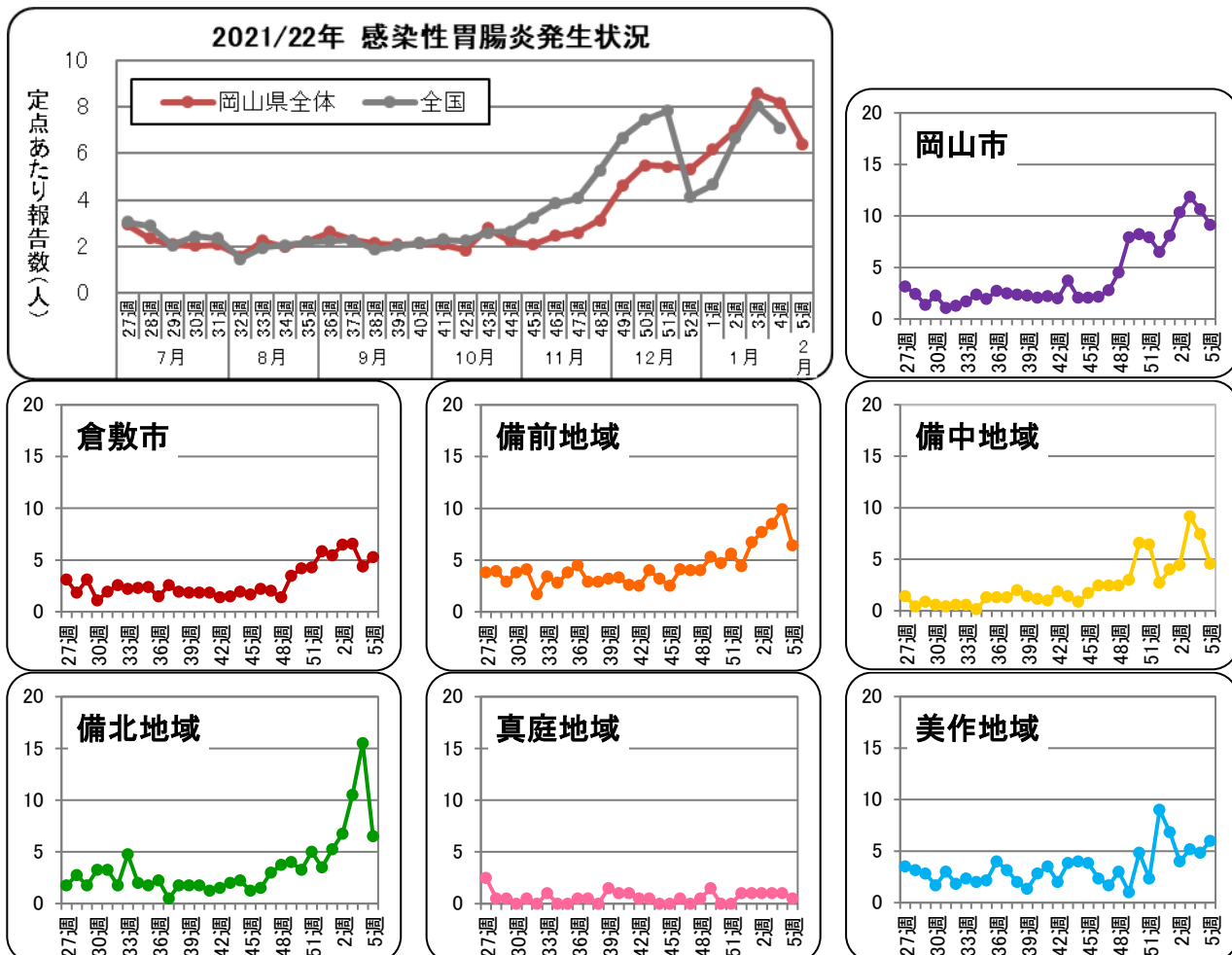
○感染性胃腸炎は、県全体で345名（定点あたり6.39人）の報告がありました（54 定点医療機関報告）。



※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で345名（定点あたり8.17→6.39人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。特に乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

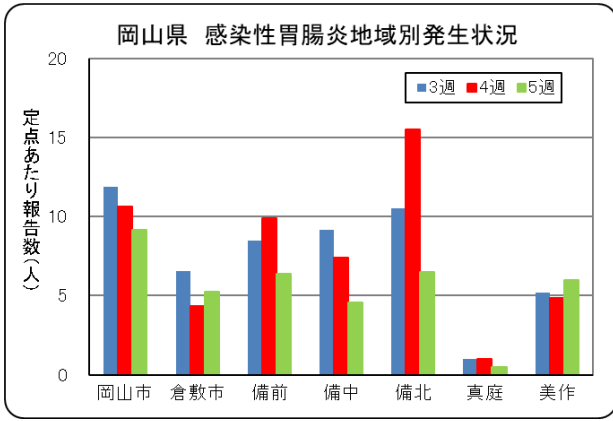
◆地域別・年齢別発生状況



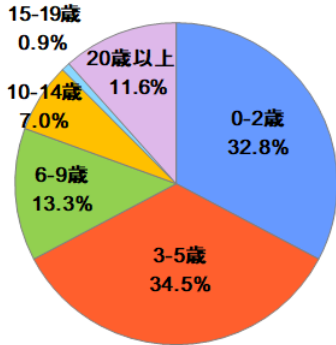


レベル3		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
20	12	0 < 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。



感染性胃腸炎 年齢別割合 (第5週)



小児科定点（54 定点医療機関）からの報告によると、2022 年第 5 週の年齢別割合では、3-5 歳 34.5%、0-2 歳 32.8%、6-9 歳 13.3%の順に多く報告されています。

## ◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

### <予 防 方 法>

#### 1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

#### 2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

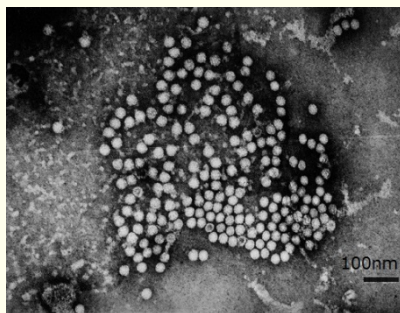
おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。これらを処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

#### 3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1 分間以上の熱水処理または**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

#### 4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を 85～90℃で 90 秒間以上）

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

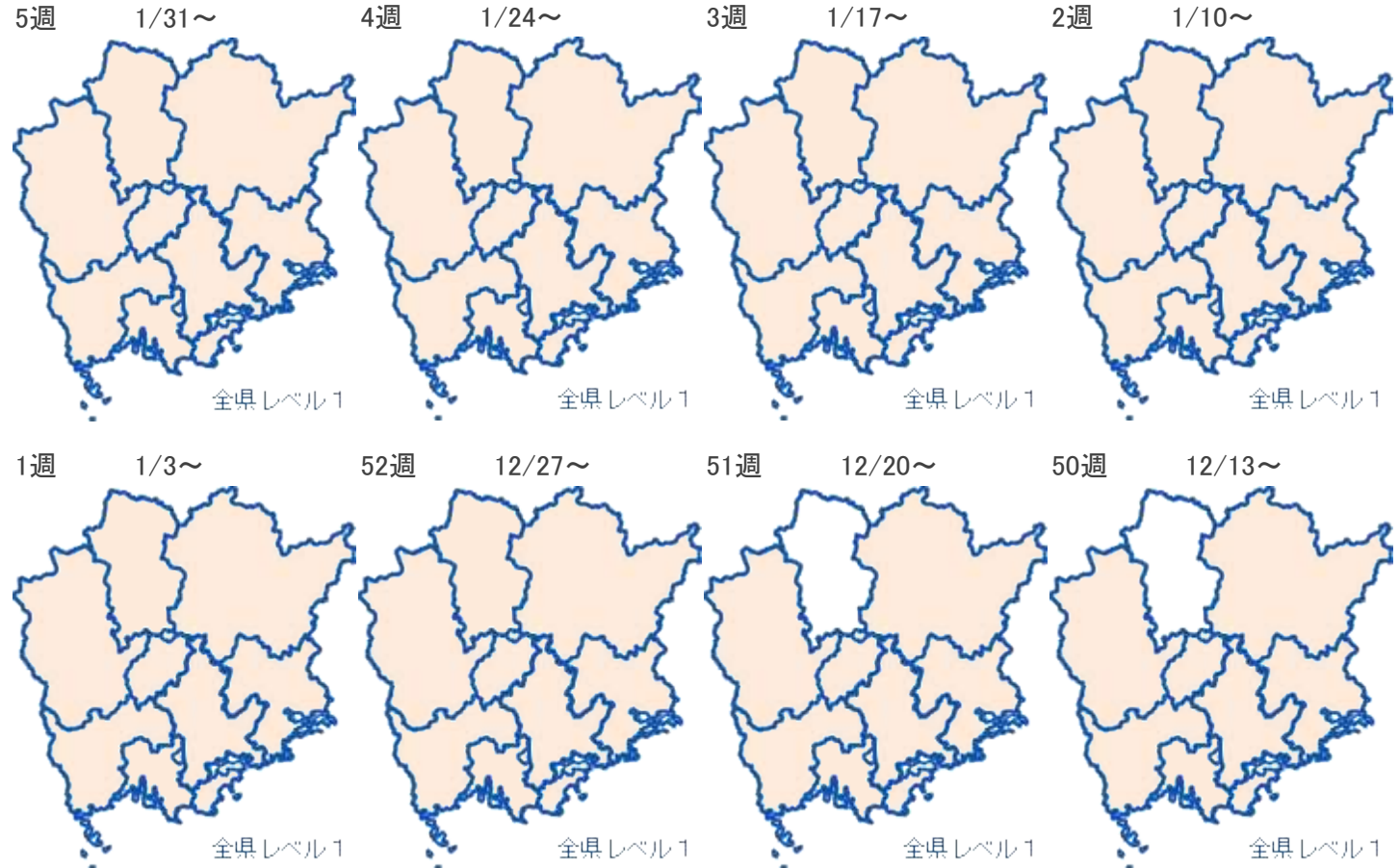


※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、アルコールの効果は低いとされています。

### ○ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）

ノロウイルスの電子顕微鏡写真  
岡山県環境保健センターウイルス科 画像





感染性胃腸炎

レベル3		レベル2		レベル1		報告なし	
開始基準値	終息基準値	基準値		基準値		基準値	
20	12			0 < 20 未満		0	

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。